

# 水田雑草クサネムの発芽特性

福島県農業試験場会津地域研究支場  
平成17年度試験成績概要

1 部門名 水稻－水稻－雑草発生・雑草防除  
分類コード 01-01-19200000

2 担当者 新田靖晃・花見 厚・松本靖

3 要 旨

7月上旬までに発生したクサネムは、種子が玄米に混入する粒径に肥大する可能性があり、玄米の検査等級低下の要因になるため、適切な防除法が求められている。そこで、水田における発生状況を明らかにして効率的な防除法を検討する。

(1)発芽率は6月中旬までは、10%未満と低かったが、その後上昇し、7月上旬には約15%になり、その後8月中旬から9月上旬にかけて急上昇し約40%に達し、10月末には44%になった。

(2)7月上旬は、発芽率が上昇する時期にあり、玄米の検査等級を低下させないためにはこの時期の防除が必要になる。

(3)クサネムの生育は、湛水条件では著しく抑制されるので、7月上旬までの湛水管理が耕種的防除法として有効であるが、落水を伴う中干し時期であるため薬剤防除をおこなう必要がある。

4 その他の資料など